

第3回百間川河口水門周辺有効活用方策検討協議会



百間川分流部上空から見た下流域の風景



児島湾上空から見た百間川河口水門周辺の風景

「協議会だより」の発刊に当たって！

はじめまして！国土交通省岡山河川事務所です。

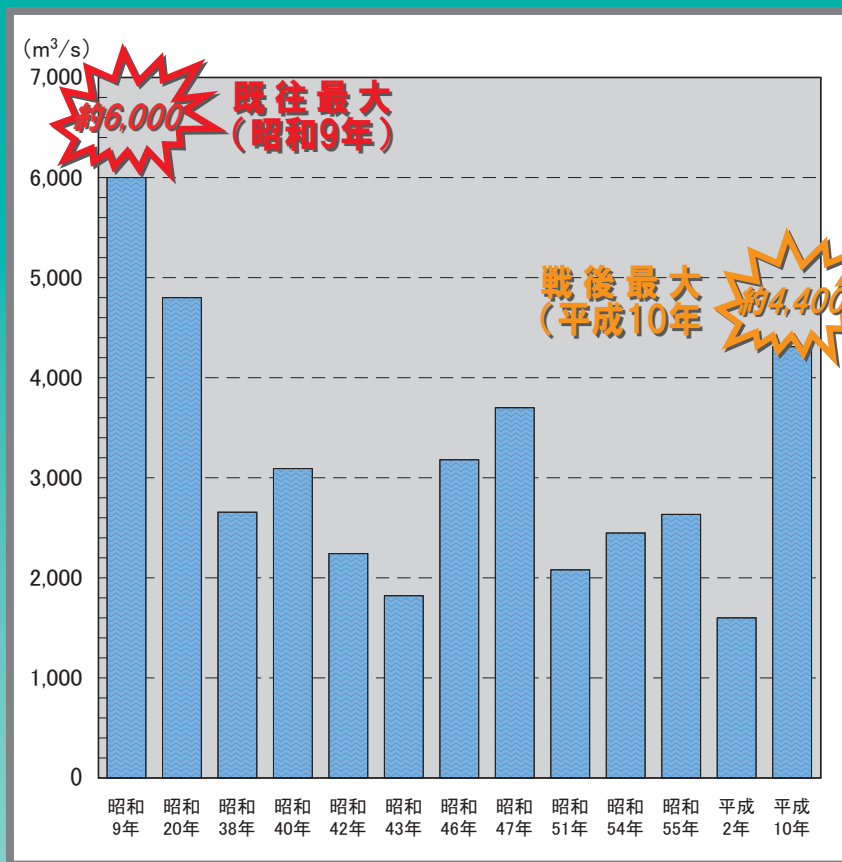
私たちは、岡山県内における一級河川吉井川、旭川、高梁川の河川改修と河川管理を担当しています。

現在、当事務所では旭川及び百間川の河川改修を行うに当たり、学識経験者、漁業関係者、地域住民、市民団体、行政関係者などにより協議会を設置し、課題についての共通認識を図るとともに、改修場所周辺の利活用や適切な整備・管理など様々な検討を行っています。

協議会は原則公開とし、経過については当事務所のホームページでも公開しておりますが、このたび、協議会を中心とした諸情報をより多くの地域の皆さんに知っていただきたく、「旭川・百間川協議会だより」を発刊することとしました。ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

旭川・百間川の改修の必要性

●主要洪水



昭和9年の洪水が既往最大

- ・ 出水量 : 約6,000m³/s
- ・ 2日雨量 : 226mm
- ・ 水位 : 9.50m (地点: 下牧)

平成10年の洪水が戦後最大

- ・ 出水量 : 約4,400m³/s
- ・ 2日雨量 : 182mm
- ・ 水位 : 9.16m (地点: 下牧)

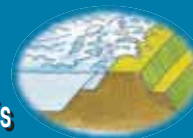


最近起こった「平成10年の洪水」



岡山市域で堤防の越流や決壊の危険が生じた。

出水量: 約4,400m³/s



過去、100年間では・・・

岡山市域を襲った洪水の内、「平成10年」以上の出水量を記録した洪水は・・・

2回

昭和9年 洪水

出水量: 約6,000m³/s

昭和20年 洪水

出水量: 約4,800m³/s



発生している

さらに、今は昔と比べ・・・

市街化の進展などによる土地利用の高度化

洪水から守るべき地域が拡大

●昭和9年洪水の状況（岡山市 城下交差点）

<岡山市全域の被害状況>

- ・死者 : 18人
- ・負傷者 : 105人
- ・床上浸水 : 17,865戸
- ・床下浸水 : 不明

昭和九年九月二十一日洪水浸水線
東京湾中等潮位上 六米一三糎



当時の浸水位を表す標識(中国銀行本店)



洪水時の状況



通常時の状況

●洪水から岡山市域を守るためには・・・

方針

適切に洪水をコントロール
する分流部の整備

分流部

旭川

洪水を安全かつ
スムーズに流す
河道の整備



後樂園付近



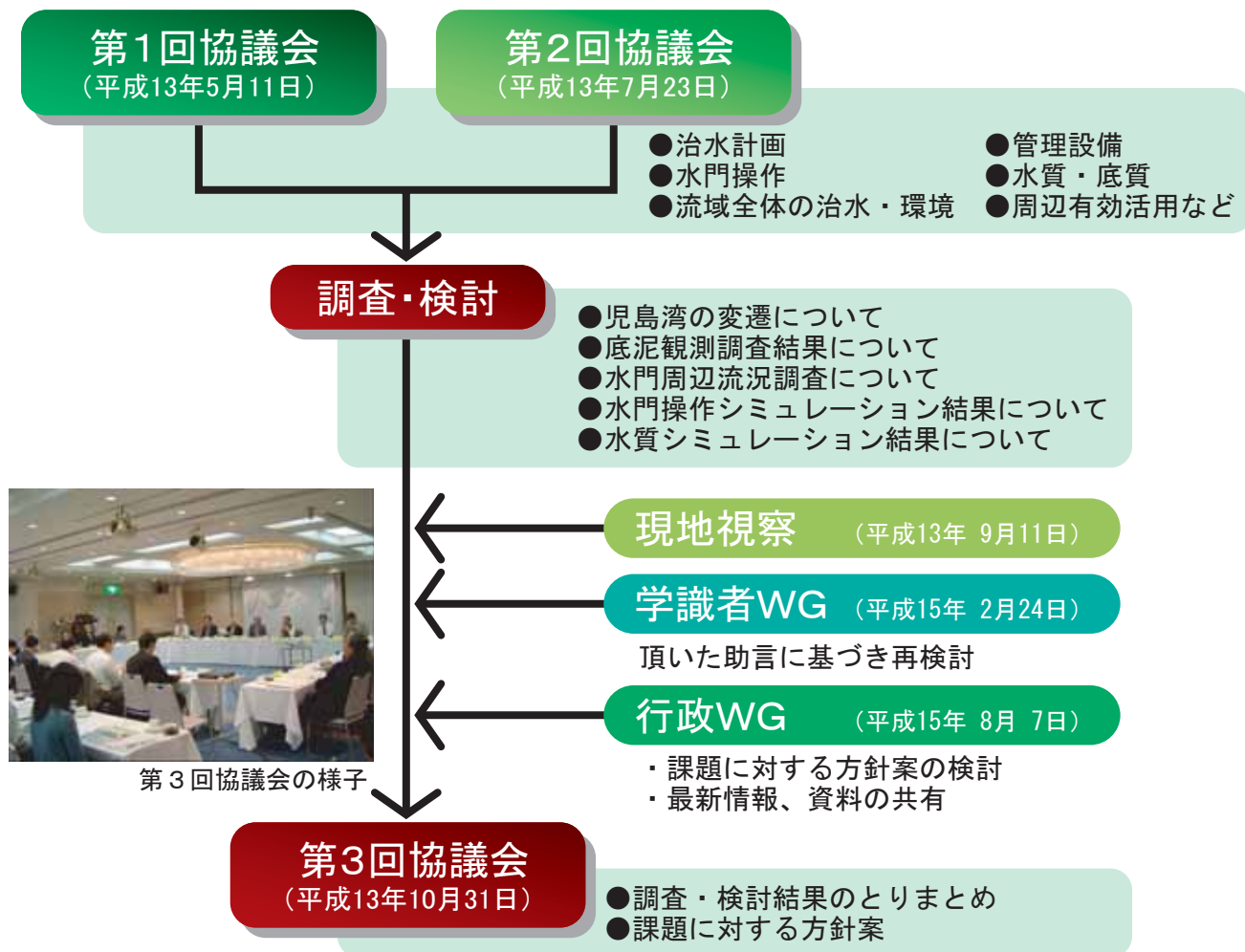
百間川

洪水を安全かつ
スムーズに流す
河道の整備と河口水門の整備



百間川河口水門

これまでの検討経緯



これまでの課題に対する方針（案）

区分	検討事項	検討状況
水門操作	・ 魚類等の遡上、降下に支障とならない水門操作	・ 平常時の水門操作において、魚類等の遡上、降下及び底泥の巻き上げに配慮した新旧水門の操作運用について検討を行う。
底質	・ 非出水期での操作回数減少による水質悪化対策	・ 試行的に水門操作回数の見直しを行う方向で関係者と調整を図る。 (水循環の改善)
	・ 百間川内の底泥対策	・ 平成13年度より百間川下流域において、国体に伴う底泥浚渫を実施している。(平成15年度完了予定) ・ 今後は環境対策として、河口水門周辺部及び砂川合流部等、可能な範囲で予算要求し、底泥浚渫を実施していく予定である。
水質	・ 百間川内の水質改善対策	・ 平成7年度より旭川から毎秒1m ³ の浄化用水を百間川へ導水している。 ・ 生活雑排水による汚濁の多い樋門を対象として、水質浄化施設(5箇所)を整備中である。(平成14年度末現在、2箇所完成) ・ 塩分侵入による水質改善を実験的に行うために、地元関係者と調整を図る。
環境	・ 河川内のゴミ及び流木対策	・ 百間川では毎年、浮き草除去作業を実施している。 ・ 必要に応じて中州内のゴミや流木の撤去を実施している。
	・ 河川内の植生管理の検討	・ 平成14年度から「旭川植生管理方針検討会」を設置し、検討を行っており、方針策定後、段階的に伐採していく予定である。
	・ 高島干潟の保全	・ 出水時での高島干潟の洗堀防止対策として、新旧水門の排水部分に減勢工を検討する。(水理模型実験の実施)

第3回協議会での意見概要

●河口水門に関わる事項

区分	意見概要	事務局等による回答等
水質・底質について	河口部での酸化還元電位は、継続して調査されたい。シミュレーションに対して、必ず後で追跡調査を行い、検証されたい。浚渫については、目的を明確にし、水質・底質の相互作用を把握した上で実施されたい。	事業の実施上、追跡調査は必要なものである。また、関連する調査も継続的に行っていききたい。
水門操作・高島干潟の保全について	2つの水門は同時に開けるのか、それとも操作は別々となるのか。	洪水時には全開操作するとし、平常時には操作方法による水質改善や維持・管理などの要望も踏まえ、検討していききたい。
	干潟が小さくなっている要因を確認されたい。	水門操作による干潟への影響については、調査検討を続けていく予定である。
	洪水時に百間川に流れる量が約2倍になるが、これに対する高島干潟の保全について検討されたい。	
	計画洪水によって干潟がどうなるかの検討は行っていないのか。	既存の検討結果について、次回の協議会で提示したい。
	ゲート下流にて、流速を抑える減勢工の設置を検討するようであるが、干潟自体での対策（干潟の再生等）は考えていないのか。	干潟は河川管理者が直接手を付けられる立場にないが、河川管理者として可能な限り、協力はしていきたい。なお、新水門からの排水においては、できる限り干潟への影響を抑える方法を検討していききたい。
河川管理について	新水門では、大きなゴミや流木をどう処理するのか。	現水門と同様、必要により清掃するなど適切に維持・管理していききたい。
	上流部で橋の計画があるが、橋脚に流木などが当たり、流れを阻害する恐れはないのか。	橋脚間の距離は、洪水時の水位、ゴミや流木も想定して決めている。なお、ゴミ対策は、市民の協力も頂きながら対応していききたい。また、植生管理のあり方については、治水面だけでなく自然環境の保全も含めて検討していききたい。
流域全体の治水について	昭和9年と同じ規模の洪水が流れ込んできた場合、過去と比べて現在の百間川の処理能力はどのくらいか。	現況では計画洪水は流れない状況であるが、河口水門の増築と分流部を改修することにより、計画洪水を安全に流すことが可能となる。
事業内容・周辺有効活用について	百間川下流の左岸（岡東浄化センターから河口までの区間）には、道路の計画はあるのか。	左岸の道路計画は、市（占用許可）の所管であり、市に確認した上で、次回の協議会で提示したい。
	現水門西側の残土処理地整備工事とは、埋め立てるという意味か。また、東側はどうなるのか。	水門工事の残土処理地として埋め立てる予定であり、将来的には水防拠点としての活用を計画している。なお、水門東側については、埋め立てる計画はない。
	増築される河口水門の完成予定は。	平成19年度完成を目指している。

●その他の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・ 児島湾全体における干潟、藻場の減少状況やその原因などを、どこかが調査していく必要がある。また、夏場における旭川下流の無酸素状態について、経年的な調査を続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 希少な植物等をどう保護していくのが今後の問題と考えている。生き物の変化は、ここ20年間で相当大きく現れているが、それが底質の問題、水質の問題だけなのか。その他、周辺環境が今後どう変化するかも見なければいけないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭西の浄化センターは、下水と雨水の処理場だが、八浜の方が完成しているので、八浜へ入れて旭川へ流さないで欲しい。（岡山市：今年から徐々に旭西の汚水分を八浜の方に送っている。旭西に対して最終的に放流される負荷量は徐々に減らしていく考えで進めている。）
<ul style="list-style-type: none"> ・ ダムによる洪水調節を天気予報を踏まえて適切に行なって欲しい。（岡山県：下流への被害を最小限に食いとめるゲート操作に努めており、これまでのダム操作は適切であったと認識している。）

今後の検討

検討内容

次回協議会は平成16年1月下旬を予定しています。

前提事項

河口水門における排水能力確保のための方策

- 水門増築の規模及び基本構造
- 水門操作方法

河口水門周辺有効活用方策

河川空間の利活用方策

- 河川敷等水辺の環境整備
- 水防拠点の整備
- 漕艇会場の周辺整備
- 兼用道路の整備

維持管理の方策

- 役割分担の明確化
(管理者・関係行政・地元住民)

配慮事項

自然環境の保全及び改善

- 水質、底質
- 生態系等

地域社会の要望・提案

- 利活用に関する要望等
- 維持管理に関する要望等

関連計画との調整及び連携

- 防災拠点整備
- 漕艇会場整備等

検討対象区域



協議会での協議内容、協議会資料の詳細については、岡山河川事務所ホームページ(広報、閲覧コーナー)をごらんください。

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 調査設計課

岡山市鹿田町2丁目4番36号 TEL 086-223-5101

岡山河川事務所ホームページ <http://www.okakawa-mlit.go.jp>